

ワンパス、という考え方

Dr. Δ iR

UV-C 253.7

ウイルス・ワンパス除去装置



SIAA
ISO 22196
抗菌加工

SIAA
ISO 21702
抗ウイルス加工

ワンパス※で

23の独自開発した特許技術を搭載

先進的技術

99.9997%

(検出限界値)

以上の
ウイルス除去を実現。

ウイルスや細菌類の遺伝子に直接深紫外線を照射。

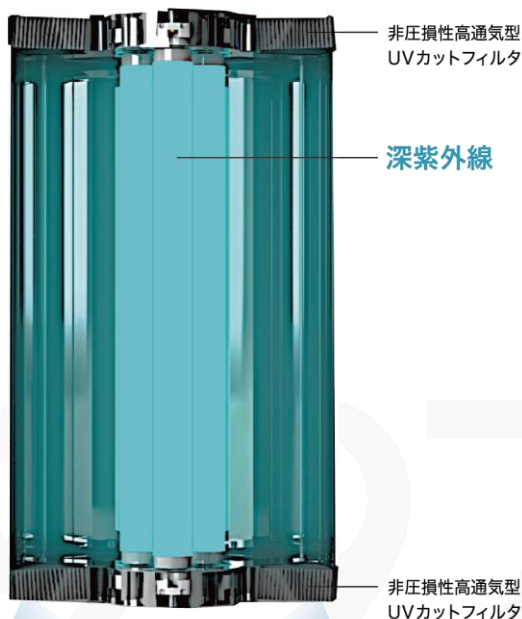
従来式UV-C照射方式では、30cm程度の至近距離であっても99.99%のウイルス除去には30秒以上の照射が必要です。

Dr.AiR UV-C は深紫外線を増幅させ、超高濃度紫外線空間をつくり出すことにより、吸い込んだ空気を装置内部に0.05秒以上かけて通過(ワンパス)させることで99.9997%(測定限界値)以上のウイルス除去を実現しています。

装置内部の吸排気箇所にはUVカットフィルタを設置し、内部のUV-Cが外部へ漏れないよう安全性を考慮した構造になっています。

※ 浮遊ウイルスが含まれた空気を装置内に一度通過させること

- ・ 全てのウイルスに効果があるわけではありません
- ・ 急速モード：最大ワンパス通過時間0.06秒(部分的)



Dr.AiR エンジンユニット内部構造

学校法人 北里研究所 北里大学

大村智記念研究所 感染制御研究センター長・教授

花木 秀明 HANAKI HIDEAKI

従来の空気清浄機はHEPAフィルタ等の塵埃濾過フィルタを使用しているので、菌やウイルスをある程度捕集することは可能ですが、壊すことはできません。また、上方へ排気するためフィルタで捕集しきれなかった菌やウイルスを空气中に拡散させてしまいます。一方、Dr.AiR UV-Cでは、密室空間でウイルスをUV-Cに照射する構造なので、0コンマ0何秒でウイルスを破壊することが可能です。また、ウイルスが除去された空気を下方へ排気するため、ウイルス拡散を防止することも可能です。



共同研究

NejiLaw™

学校法人
北里研究所
THE KITASATO INSTITUTE

北里大学
KITASATO UNIVERSITY

名古屋大学
NAGOYA UNIVERSITY

日本赤十字社 長野赤十字病院
Japanese Red Cross Society

社会医療法人 宏潤会
大同病院・だいどうクリニック



発明家 / Dr.AiR UV-C 発明者・開発者

道脇 裕 MICHIWAKI HIROSHI

学歴なし / イノベーター / 発明家 / 数学者 / 科学者 / 起業家 / 実業家

国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED) 科学技術調査員(現職)

GOOD DESIGN賞 招聘審査員

NHK「プロフェッショナル 仕事の流儀」出演、日経スペシャル「カンブリア宮殿」出演

特許事務所、大企業の顧問等を歴任し知財戦略立案、発明、研究開発事業戦略立案等を縦横無尽に手掛けコンサルティングや共同開発事業等を多数実施。

製品開発/製造元

総販売元

販売店

株式会社 Dr.Lab

InfoFarm
株式会社インフォファーム

名古屋支店
愛知県名古屋市中村区名駅3丁目9-4 名駅近藤ビル1F
Tel: 052-533-3881 / Mail: nagoya@infofarm.co.jp